



鳴滝通信

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和7年7月1日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 高田加寿子

紫陽花の花が色づき始め、雨に濡れる緑が一層美しく感じられる季節となりました。保護者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今月も、各学年でさまざまな活動が行われましたので、ご報告いたします。

3年生は、進路に向けた個別相談がありました。生徒一人ひとりが将来を真剣に考え、よりよい進路に向けて具体的な準備を進めています。

1年生は、オリエンテーション実習を行いました。これからたくさん行うことになる実習について知るとともに、コミュニケーションの大切さを学ぶ機会となりました。今後の学びへの意欲につながる充実した実習となりました。

2年生は、5月末に東京方面への修学旅行を実施しました。さまざまな施設での体験を通じて、視野を広げるとともに、仲間との絆を深めることができました。楽しい思い出とともに、今後の学びへの刺激となったことと思います。

普通科の小学部の児童は、担任以外の先生との授業も始まり、はじめましての先生の授業も、落ち着いて受けることができます。また、中学部生徒は、科学センター学習をおこないました。科学的な体験をする中で、さまざまな反応を示す様子が見られました。

生活産業科2年生 修学旅行



オープンキャンパス

6月16日（月）より令和8年度入学に向けた中学3年生対象オープンキャンパスが始まりました。生活産業科2、3年生が中心となり、受付、案内を担い、専門教科では各担当生徒が、体験や紹介をしてくれました。笑顔であいさつをし、おもてなしの気持ちをもって、日頃の学習の成果を十分に発揮できていました。鳴滝の良さを堂々と表現している姿は素晴らしいものでした。



気温、湿度が高い日が続いています。今年も夏の猛暑が予想されます。水分は多めに、着替えやタオルなどもご用意ください。また、登下校中は帽子などもご用意いただき熱中症対策をしっかりとこなってください。



京都はぐくみ憲章
社会の安全を保障し、
活動の場を拡げよう